



NW10Aの様子

2004年夏のXAFS討論会、年末のPF研究会等でNW10Aの建設提案を支持頂き、建設に至りました[1]。XAFS関係で北大朝倉先生の科研費、AXS関係で松原先生（現京都大）からの支援、また機構からの財政的支援を頂き、高エネルギー域用XAFS/AXS実験用ビームラインとしてNW10Aの建設が進められてきました。

既報[2]のように2005年夏の停止期間中にビームライン基幹部、ビームラインハッチ、実験ハッチの建設が、秋の運転と平行してビームラインの建設が進められ、12月にはインターロックの敷設が行われました。コスト削減のため、ビームライン基幹部はNE9で使われていたものを譲り受け、改造の上設置しました。また、計測系等はBL-10Bから転用しています。

1月17日には安全面からの立会い検査、19日には光導入試験、20日には光軸確認を行い、現在、ビームライン光学系の立ち上げ作業が進められています。NW10Aでの新たな試みとしては、

- Ptコートミラーで42 keVまでの集光  
近年Rhコートミラーが多用されているため、RhのXAFS実験が困難とのことです。
- ビームライン用スリットにヒートパイプを用いた冷却方式を導入、  
これにより、ビームラインの真空中での水漏れの危険を無くせると期待しています。
- ユーザーが操作する頻度の低いモーター系、モニターカメラ等をネットワーク経由として、配線を簡略化した等です。実験者から見た場合、従来のBL-12Cと同様の使い勝手を提供出来る予定です。

執筆時点(1/28)では、各種の問題点の洗い出し、対策を立てている段階ですが、ある程度の目処が付き次第、暫定的な公開を進める予定です。XAFSのメーリングリストXSJで案内を送る予定です。

[1] 朝倉, 松原, 野村編, KEK Proc. 2004-16 (2005).

[2] 野村, Photon Factory News, 23 (2) 13 (2005).

## お知らせ

### 平成18年度後期 フォトン・ファクトリー研究会の募集

物質構造科学研究所副所長 松下 正

物質構造科学研究所放射光科学研究施設（フォトン・ファクトリー）では放射光科学の研究推進のため、研究会の提案を全国の研究者から公募しています。この研究会は放射光科学及びその関連分野の研究の中から、重要な特定のテーマについて1～2日間、高エネルギー加速器研究機構のキャンパスで集中的に討議するものです。年間6件程度の研究会の開催を予定しております。

つきましては研究会を下記のとおり募集致しますのでご応募下さいませようお願いします。

#### 記

1. 開催期間 平成18年10月～平成19年3月
2. 応募締切日 平成18年6月16日（金）  
〔年2回（前期と後期）募集しています〕
3. 応募書類記載事項（A4判、様式任意）
  - (1) 研究会題名（英訳を添える）
  - (2) 提案内容（400字程度の説明）
  - (3) 提案代表者氏名、所属及び職名（所内、所外を問わない）
  - (4) 世話人氏名（所内の者に限る）
  - (5) 開催を希望する時期
  - (6) 参加予定者数及び参加が予定されている主な研究者の氏名、所属及び職名
4. 応募書類送付先  
〒305-0801 茨城県つくば市大穂1-1  
高エネルギー加速器研究機構  
物質構造科学研究所事務室  
TEL：029-864-5635

\* 封筒の表に「フォトン・ファクトリー研究会応募」と朱書のこと。

なお、旅費、宿泊費等については実施前に詳細な打ち合わせのうえ、支給が可能な範囲で準備します（1件当り上限50万円程度）。

また、研究会の報告書をKEK Proceedingsとして出版していただきます。

## 平成 18 年度後期 共同利用実験課題公募について

実験企画調整担当 小林 克己 (KEK・PF)  
宇佐美徳子 (KEK・PF)

上記公募締切が下記のようになっております (平成 18 年度前期公募より S 型, G 型, P 型の締切が同じになりました)。

S2, G 型, P 型課題 平成 18 年 5 月 8 日 (月)

P 型 (予備実験・初心者実験) の申請に当たっては, 実験ステーション担当者 と 技術的なことについて緊密に打ち合わせて下さい。

放射光共同利用実験応募資料は PF ホームページ (<http://pfwww.kek.jp/indexj.html>) を御覧下さい。

不明な点は下記までお問い合わせ下さい。

研究協力課共同利用係

Tel: 029-864-5126 Fax: 029-864-4602

Email: kyodo1@mail.kek.jp

実験企画調整担当者 小林 克己

Email: katsumi.kobayashi@kek.jp

## 防災・防火訓練のお知らせ

PF 安全担当委員 伊藤健二

放射光科学研究施設ではユーザーの方々を含めた防災訓練を年 1 回くらいのペースで行うことになっています。防災訓練では, 機構指定の避難場所 (今年度 PF ニュース誌裏表紙参照) への避難及び各人の所在確認などが含まれます。PF リングおよび PF-AR が対象となります。日時は,

2006 年 3 月 8 日 (水) 午後 (時間未定)

です。今回の訓練では災害発生想定時に合わせて MBS を閉じさせていただきます。多くの方が同じ空間で研究を進めている放射光科学研究施設においては, 防災訓練は重要です。訓練に必要な時間も 30 分程度ですので, 一人でも多くの方に参加していただきますよう御願います。

## 共同利用宿舎の宿泊料金改訂のお知らせ

ユーザーズ・オフィス委員会委員長 小林克己

ユーザーズ・オフィス委員会 (UO 委員会) は, 大学共同利用を掲げる機構において, 共同利用者の受け入れ, 特に宿舎の環境を改善すべく, ユーザーの声を取り上げて, 議論し, 提言してきました。最近, 特に宿舎の環境改善を要望する声が多いので, それを実施するために宿舎費を値上げすることをユーザー代表を含む本委員会で審議し, 承認されました。実施時期は秋頃を予定していますが, 決定次第お知らせします。共同利用宿舎の宿泊料金は 1 泊あたり, 1500 円 (バスタイレ無し), 2000 円 (バスタイレ付き) となります。これにともない, すべての部屋にバスタオル, フェイスタオルが準備されます。また寝具・リネン類の洗濯の頻度を上げるなど, 快適に泊まれる様に宿舎の環境を改善します。共用のバス, トイレの改修, 洗たく機・乾燥機の更新なども順次行って行きます。各部屋に改善すべき点を報告してもらおう用紙を置きますので, 備品や機器の不具合, 要望などがありましたら記入の上, ユーザーズ・オフィスに提出して下さい。

また, 4 月からは 2 号棟の二人部屋を廃止し, すべてシングル室とします。宿泊料金をクレジットカードで支払うことも可能になりますので, ご利用下さい。

関係各位 殿

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構  
物質構造科学研究所長 小 間 篤 (公印省略)

## 大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所教員公募について (依頼)

本機構では、下記のとおり教員を公募いたしますので、貴関係各位に御周知いただき、適任者の推薦または応募をお願いいたします。

**公募番号 物構研05-9**

### 1. 公募人員

助教授 1名 (任期なし)

本機構の教員の職名は、教授、助教授、講師、研究機関講師及び助手であるが、機構の性格から、大学における講座制とは異なる運営が行われる。また、本機構の教員の定年は63歳である。

### 2. 研究 (職務) 内容

放射光科学研究施設では挿入光源ビームラインの増強を進めている。本公募の職務に就く者は、この中で真空紫外・軟X線領域のビームライン光学系などのビームライン関連技術、実験装置技術、新しい実験手法の開発において中核的役割を担うと同時に、真空紫外・軟X線領域の放射光を利用した物質科学研究を行う。また、関連するビームライン・実験装置の性能向上・管理及び共同利用実験推進業務を担う。

3. 公募締切 平成18年3月27日 (月)

4. 着任時期 採用決定後できるだけ早い時期

5. 選考方法 原則として面接選考とする。

### 6. 提出書類

(1) 履 歴 書……通常の履歴事項の後に、(1) 応募する公募番号 (2件以上応募の場合はその順位) 及び、(2) 可能な着任時期を明記すること。また、電子メールアドレスがある場合は明記すること。

(2) 研 究 歴

(3) 発表論文リスト……和文と英文は別葉とすること。

(4) 着任後の抱負

(5) 論 文 別 刷……主要なもの5編以内

(6) その他の参考資料 (外部資金獲得状況、国際会議招待講演、受賞歴等)

(7) 本人に関する推薦書または参考意見書

上記の書類は、履歴書用紙を除き、すべてA4判横書きとし、各葉に氏名を記入すること。

なお、2件以上応募の場合は、提出書類を別々に用意すること。

### 7. 書類送付

送付先 〒305-0801

茨城県つくば市大穂1-1

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構 総務部人事労務課人事第二係

\*封筒の表に「教員公募関係」「公募番号」を朱書きし、郵送の場合は書留とすること。

### 8. 問い合わせ先

(1) 研究内容等について

研究主幹野村昌治 (放射光科学第一研究系) TEL029-864-5633 (ダイヤルイン)

(2) 提出書類について

総務部人事労務課人事第二係 TEL029-864-5118 (ダイヤルイン)

---

## 予 定 一 覧

2006 年

3月20日	PF, PF-AR 平成 17 年度第三期ユーザー運転終了
3月23日～24日	第 23 回 PF シンポジウム
4月10日	PF 平成 18 年度第一期ユーザー運転開始
4月17日	PF-AR 平成 18 年度第一期ユーザー運転開始
4月28日	PF, PF-AR 運転停止
5月 8日	平成 18 年度後期共同利用実験課題 (S 型, G 型, P 型) 申請締切
5月10日	PF 運転再開
5月12日	PF-AR 運転再開
6月13日～15日	高エネルギー加速器研究機構 総合研究大学院大学「夏期実習」
6月16日	平成 18 年度後期フォトン・ファクトリー研究会公募締切
7月 2日	PF-AR 平成 18 年度第一期ユーザー運転終了
7月 3日	PF 平成 18 年度第一期ユーザー運転終了

最新情報は <http://pfwww.kek.jp/spice/getschtxt> でご覧下さい。